まだまだ元気！100歳

市内最高齢者三人を

市長らが訪問

小笠原市長が3人を訪問し、記念品をプレゼント

「敬老の日」を前に九月七日、市内の百歳のお年寄り三人を小笠原市長、高橋増治市社会福祉協議会会長らが訪れ、「百歳おめでとう」と記念品を贈って祝福しました。

今年百歳を迎えられたのは、ともに明治十八年生まれの国分の岩原崎衛さん（二月一日生まれ）、奈路出身で土佐清風園の西川古牟さん（三月三日生まれ）、白木谷の黒岩兼猪さん（四月十四日生まれ）の女性三人で、ともに市内最高齢者です。

土佐清風園の西川さんは、少し耳が遠くなりましたが、好き嫌いなく何でも食べるそうで、小笠原市長から鎌倉彫りの小物入れ、高橋会長から毛布が贈られると「ほんとうにありがとうございました」と、はっきりした口調でお礼を述べていました。

白木谷の黒岩さんは、庭の草引きをしたり洗濯物を畳んだりするほど元気な毎日を過ごしており、豆類や野菜をよく食べ、特に高野豆腐が好物だそうです。小笠原市長がお祝いの言葉を述べると「こんなにしてもらって家内一同喜んでいます」と、はきはき答えまだまだ元気なところを見せていました。

国分の岩原さんも好き嫌いはなく何でも食べ、特にミカンが大好き。朗らかな性格でたまには歌を歌ったりするそうです。小笠原市長が「長生きしてください」と握手すると「ありがとうございました」と、笑顔で答えていました。

今、高知県で百歳を超すお年寄りは三十四人で、最高齢は百三歳の今宮久三郎さん（東洋町）です。西川さん、黒岩さん、岩原さん、いつまでもお元気で長生きして日本一の長寿者になってください。

西川古牟さん

黒岩兼猪さん

岩原崎衛さん

ともに助け合って半世紀

～金婚夫婦祝福式典～

市内では28組が迎える

ともに手を取り、風雪に耐えて半世紀――。第二十八回金婚夫婦祝福式典（高知新聞社主催）が九月一日、午後二時から県下六会場で行われ、南国会場となった社会福祉センターには、本市のほかに香美・長岡郡も含め百二十五組（本市は二十八組）のご夫婦が出席しました。

式典では、まず神事が行われた後、主催者を代表して高知新聞社の森下茂和取締役局長が祝福の言葉を送り、山岡哲郎さん、由喜子さん夫婦（田村）に記念品を贈呈。

市内からは28組の金婚夫婦が出席

そして、小笠原市長らが「これからもお互いに助け合い、社会の発展のため先輩としての貴重なご意見をお願いします」と祝福。

これに答えて、土佐山田町の高野源吉さん、登美茂恵さん夫婦が「この感激、うれしい気持ちを忘れず、これからも健康に留意し、郷土のため福祉のために尽くしたい」とお礼の言葉を述べました。

市内で、金婚を迎えられたご夫婦は次のとおりです。（敬称略）

金婚を迎えられた28組のご夫婦

浜口　勇(72)雪　子(71)	前　浜	島崎幸吉(74)　貞　(71)	大　埇
浜田祐夫(74)静　枝(72)	〃	濱田　正(75)菊　猪(68)	明　見
池添慶亀(86)　光　(78)	田　村	林　榮枝(77)寿　子(70)	小　籠
石川夘吉(82)玉　恵(76)	〃	徳久喜一(71)政　美(70)	後免町
川村　等(77)　環　(75)	〃	大町良平(72)福　美(68)	東　崎
山岡哲郎(75)由喜子(68)	〃	森　壽正(76)美　和(69)	〃
吉井清省(76)芳　恵(71)	〃	立花武行(68)玉　喜(67)	下末松
北村正矩(79)益　恵(74)	立　田	原　貞廣(73)千代子(71)	三　畠
神田正春(77)八重子(70)	浜改田	久万常治(78)富士子(74)	比　江
濱口政榮(74)千代子(71)	〃	中川作廣(71)ヨネコ(71)	領　石
廣光豊年(73)貞　女(70)	〃	門田　保(75)　榮　(69)	植　田
西山敏治(71)光　子(70)	片　山	岡崎　融(75)先治恵(71)	天行寺
中澤正男(73)千恵子(68)	稲　生	宮崎　奨(73)明　美(67)	十　市
上村義雄(74)千代子(73)	大　埇	森国員成(79)　久　(75)	〃

9月15日から一週間は老人福祉週間です。

お年寄りには、長い人生で培ってきた経験や知恵がいっぱいつまっています。お年寄りを老け込ませないためにも、こうしたお年寄りならではの持ち味や特徴を家庭や地域社会でもっと生かしてもらいたいものです。